

平成28年度 2月号



# 新座二中だより

新座市立第二中学校  
新座市野火止 7-17-10  
電話 048-477-1212

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

夢を実現させるため努力を積み重ねる意志をはぐくみます

校長 田村 和昭

江戸時代に精度の高い全国測量を成し遂げ日本地図の礎を作った伊能忠敬は、「人間は夢をもち前へ歩き続ける限り、人生に余りはない」と言葉を残しています。50歳を超えての忠敬の尽きることのない情熱・功績は後世に高く評価されています。

## 測量家 伊能忠敬

皆さんは、日本地図や世界地図がどのようにしてつくられるのか知っていますか。

江戸時代後期の測量家、伊能忠敬は50歳になったことをきっかけに、江戸で西洋の天文学や数学、測量術の勉強を始めました。そこで勉学に励み、やがて日本の地図を作ることを決意し、全国を測量する旅に出ます。忠敬、55歳のときでした。



地図をつくるには、正確に距離を測らなければなりません。忠敬が距離を測った主な方法は歩測でした。一間、今の長さの単位で言うと、約180センチメートルを二歩で歩く練習を徹底的に行い、一步、二歩

と数えながら日本全国を歩いて距離を測ったのです。

忠敬は、日本全国、北は北海道の東の果てから、南は九州の屋久島まで18年間にわたって歩き続けました。その距離を合計すると、四万キロメートルにもなります。四万キロと言うと、地球一周にもあたる距離です。

忠敬が亡くなってから二年後、日本地図は弟子たちによって完成されます。それは、「大日本沿海輿地全図」、別名大伊能地図と呼ばれ、現在の地図とほとんど変わらないくらい正確なもので、明治時代になってからも広く使われていました。単調で苦しい一步一步が、気の遠くなるような四万キロメートルになり、すばらしい日本地図になったのです。

## 千里の道も一歩から

「千里の道も一歩から」という諺（ことわざ）があります。どんな長い距離に行くにも、一歩から始まるということから、夢や願いを実現させるためには、少しずつの努力を積み重ねることが大切であるということです。中学生は、今、いろいろな夢をもっていると思います。夢を実現させることは、簡単ではありません。長い時間がかかることと思います。でも、けっしてあきらめないで欲しい。

いよいよ、3年生は県公立高校の受検が目の前に迫り、1・2年生は一年のまとめである学年末試験が待ち構えています。このようなときだからこそ、夢を実現させるために「千里の道も一歩から」、日本全国を歩き通した忠敬の一步一步の前進に、自分自身の努力を重ねて欲しいと思います。